

# 平成24年度 事後評価対象事業一覧表

平成24年5月24日作成

整理 番号	事業計画					該当基準	事後評価の評価項目	
	事業名／施設名	事業箇所	事業概要	工期				事業費 (億円)
				着工	完了			
道路 -1	主要地方道厳原豆殿 美津島線道路改良事業 ／久田南工区	対馬市	L=2.42km W=5.5(7.0)m	H6	H19	34億円	<p>事業完了後 5年</p> <p>(費用対効果の選定の基礎となった要因の変化)                      ・全体事業費 当初計画時 30億円 → 事業完了時34億円                      ・事業完了年度 当初計画時 H15 → 事業完了時 H19                      ・計画交通量 当初計画時 3,162台/日 → 実測値(H22) 2,344台/日                      (事業の効果の発現状況)                      ・線形改良に伴う走行性の向上 ・走行時間が3.3分短縮 ・大型車とのすれ違い困難区間が4箇所解消                      ・事故件数の減少(H15~H19 6件 H20~H23 0件)                      (事業実施による環境の変化)                      ・特になし                      (社会経済情勢の変化)                      平成16年3月1日に旧六町が合併し対馬市となる。                      (今後の事後評価の必要性)                      ・再事後評価の必要性はない。                      (改善措置の必要性)                      ・改善措置の必要は無い                      (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性)                      ・特になし</p> <p>対応方針(原案)</p> <p>(評価結果の同種事業への反映等)                      特になし</p>	

# 平成24年度 事後評価対象事業一覧表

平成24年5月24日作成

整理 番号	事業計画				該当基準	事後評価の評価項目		
	事業名／施設名	事業箇所	事業概要	工期			事業費 (億円)	
				着工				完了
港湾 一1	小茂田港改修事業 ／小茂田地区小型船 だまり整備	対馬市	<b>【補助事業】</b> 防波堤(沖) 150m 防波堤(東) 263m 防波堤(北) 175m 護岸(防波) 26m 航路(-3.0m) 3,520㎡ 泊地(-3.0m) 25,500㎡ 泊地(-1.0m) 1,120㎡ 物揚場(-3.0m) 110m 物揚場(-3.0m)(A) 70m 船揚場 20m 浮棧橋 1式 道路 6×320m <b>【起債事業】</b> ふ頭用地 29,000㎡	S55	H19	53	再評価実施 全体事業費 10億円以上 事業完了後 5年	(費用対効果の算定の基礎となった要因の変化) ・全体事業費 当初計画時 52億円 → 事業完了時 53億円 ・登録漁船数 (H15)101隻 (H23)79隻 ・浮棧橋の受益者数 (H15)119人 (H23)87人 (事業の効果の発現状況) ・浮棧橋等の係留施設整備により、就労環境の改善が図られ、また効率的な作業が可能となった。(準備陸揚げの時間が約半分に短縮された) ・防波堤整備により、出入港における安全性が向上し、また荒天時に他港へ避難することもなくなった。(年4回→0回) ・船揚場整備により、漁船の修理を他港へもっていくことなくできるようになった。(年2回→年0回) (事業実施による環境の変化) ・特になし (社会経済情勢の変化) ・平成16年3月1日 旧町合併により対馬市となる。 (今後の事後評価の必要性) ・再事後評価の必要性は無い。 (改善措置の必要性) ・改善措置の必要は無い。 (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性) ・特になし
						対応方針(原案)		
						(評価結果の同種事業への反映等) 特になし		
港湾 一2	小茂田港海岸環境整 備事業 ／小茂田地区海岸環 境整備	対馬市	離岸堤 150m 突堤 110m 護岸(改良) 315m 人工海浜(養浜) 50,000㎡ <sup>3</sup> 遊歩道 4,000㎡ 植栽 4,000㎡	H5	H19	22.3	再評価実施 全体事業費 10億円以上 事業完了後 5年	(費用対効果の選定の基礎となった要因の変化) ・家屋数 H14再評価時 8,869棟→H24事後評価時 8,832棟 (※旧厳原町) ・世帯数 H14再評価時 6,230世帯→H24事後評価時 6,029世帯 (※旧厳原町) ・農漁家数 H14再評価時 1,055軒→H24事後評価時 679軒 (※旧厳原町) ・事業所数 H14再評価時 1,355軒→H24事後評価時 996軒 (※旧厳原町) (事業の効果の発現状況) ・完了後に高潮や浸水被害は発生していない。 ・海水浴や近隣住民の憩いの場として利用されている。(H23海水浴利用者数 1,819人) (事業実施による環境の変化) ・特になし (社会経済情勢の変化) ・平成16年3月1日、旧町合併により対馬市となる。 (今後の事後評価の必要性) ・再事後評価の必要は無い。 (改善措置の必要性) ・改善措置の必要は無い。 (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性) ・特になし
						対応方針(原案)		
						(評価結果の同種事業への反映等) 特になし		

# 平成24年度 事後評価対象事業一覧表

平成24年5月24日作成

整理 番号	事業計画					該当基準	事後評価の評価項目	
	事業名／施設名	事業箇所	事業概要	工期				事業費 (億円)
				着工	完了			
河川 -1	志佐川河川総合開 発事業 ／笛吹ダム	松浦市	重力式コンクリートダム H=59.8m V=231,500m <sup>3</sup>	H4	H19	208.50	<p>(費用対効果の選定の基礎となった要因の変化) ・特になし。</p> <p>(事業の効果の発現状況) ・治水 完成後から現在までの主な出水を検証した結果、下流において水位を下げる効果が見られた。 ・環境 ダム下流地点において、ダムからの維持流量の放流により流況は安定している。</p> <p>(事業実施による環境の変化) ・水質、ダム湖周辺及びダム下流の生物に大きな変化はみられない。</p> <p>(社会経済情勢の変化) ・松浦市の人口は減少傾向にあるが、世帯数は概ね横這い傾向にあり、核家族化の進行が伺える。 ・産業別就業人口は、第二次産業人口が減少し第三次産業人口が増加しているが、全体として減少傾向で推移。</p> <p>(今後の事後評価の必要性) ・事業の効果が確認されており、今後のさらなる事後評価の必要性はない。</p> <p>(改善措置の必要性) ・事業の効果が確認されており、改善措置の必要性はない。</p> <p>(同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性) ・特に見直しの必要性はない。</p>	
対応方針(原案)								
<p>(評価結果の同種事業への反映等) ・特になし</p>								